日本航空㈱(JAL)との連携による高品質な養成課程でエアラインパイロットをめざす

エアラインパイロット 指定校推薦コース

本コース申込および推薦資格取得に際しての重要注意事項（必要条件）

【必須条件】
●1年次9月までにTOEIC® Listening & Reading Test 500点以上を取得すること(証明書提出)。※1
●1年次11月までにTOEIC® Listening & Reading Test 600点以上を取得すること(証明書提出)。※1 ●1年次12月に米国提携フライトスクールが実施する英会話能力確認試験に合格すること。
●2年次12月までにTOEIC® Listening & Reading Test 750点以上を取得すること(証明書提出)。※1
●本学が指定する期日までに、(進捗確認(第1次確認)合格者を対象に実施する)訓練継続のための面接試験および本学が定める付加的な要件を含む航空身体検査相当の健康診断に合格していること。
●本学が指定する期日までに本学の提携する米国フライトスクールにて、FAA自家用(単発)ライセンスを取得のうえ、進捗確認(第1次確認)および適性確認(第2次確認)に合格していること。 ●本学を卒業見込みの者。

【推奨要件】
資格取得のための飛行訓練および各種試験(筆記・口述・実技・無線等)はすべて英語で行われ、かつ、渡航前の事前教育も英語が主となるなど、相当の英語力が求められるため、渡航前より推奨英語能力レベル★を設定しています。
●2年次5月までにTOEIC® Listening & Reading Test 700～750点程度を取得すること。
●3年次12月までにTOEIC® Listening & Reading Test 800点以上を取得すること。
●4年次の日本航空㈱(JAL)が実施する自社養成パイロット採用選考受験時までに、TOEIC® Listening & Reading Test 850点以上を取得すること(証明書提出)。

■訓練時間・期間は天候および個人の技量等により変動する場合があります。また、記載の飛行訓練時間は、あくまで平均的な訓練時間です。訓練時間は修得状況により個人差があり、追加費用が発生する場合があります。
■留学時の米国や米国連邦航空局、提携フライトスクールおよび海外情勢、提携エアライン等の事情により実施できない場合があります。※2
■渡航に際し、ビザの取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。※2
■渡航の際に必要となるビザ申請において、操縦訓練費用(総額)や滞在期間中に必要な生活費など、米国滞在中のあらゆる費用を賄う充分な資金があることを証明する預金残高証明書の提出が必要です。
■渡航(米国内での操縦訓練)に際し、FAA Medical Certificate(3rd class以上)の取得が必要です。診断書の取得ができない場合は本コースで訓練を受けることができません。※2
■渡航(米国内での操縦訓練)に際し、Flight Training Security Program(FTSP)にフライトトレーニングの許可申請が必要です。飛行許可が下りない場合は本コースで訓練を受けることができません。※2
■所定のトレーニング期間内に指定されたライセンスの取得ができない場合、コースアウトとなる場合があります(その場合、他の訓練コースに移行して資格取得をめざすことになります。これに伴い訓練費用は増額となります)。
■進捗確認(第1次確認)に合格しても、その後実施する訓練継続のための面接試験および本学が定める付加的な要件を含む航空身体検査相当の健康診断に合格できない場合、コースアウトとなります(その場合、他の訓練コースに移行して資格取得をめざすことになります。これに伴い訓練費用は増額となります)。
■記載の飛行訓練内容、飛行訓練時間・期間および訓練費は、2026年5月1日時点のものです。今後、諸状況により予告なしに変更、追加することがあります。
■その他、渡航先の入国条件がクリアにならない場合には、本コースは継続できません。
■推薦資格取得者であっても日本航空㈱(JAL)が実施する自社養成パイロット採用選考の合格・内定を保証するものではありません。

※1 TOEIC®(L&R)スコアは、本学入学後に取得したものを有効とします。
※2 そのような場合、国内ライセンサーコースを活用しての資格取得をめざすことになります。これに伴い訓練費用は増額となります。

取得できる免許・資格 ■FAA自家用資格

1年次
11-5月
海外提携フライトスクールが実施する英会話能力確認試験合格後、渡米までの期間、FAA自家用ライセンス取得のための学科試験対策や英語学習を各自で実施（訓練コースごとに特別授業等を実施する場合があります）

2年次
6-8月
先進工学部
ハイブリッド留学®

3年次

4年次
3月
学士号取得

卒業後

★飛行訓練参加に伴う推奨英語能力レベル TOEIC®(L&R)700～750点程度

★推奨英語能力レベル
TOEIC®(L&R)
800点以上

★推奨英語能力レベル
TOEIC®(L&R)
850点以上

9月
英語能力証明
提出期限
TOEIC®(L&R)
500点以上

取得

11月
英語能力証明
提出期限
TOEIC®(L&R)
600点以上

取得

12月
米国提携
フライトスクールによる
英会話能力確認試験

合格

未取得者

不合格者

・JCAB海外ライセンサーコース
または
・JCAB国内ライセンサーコース　に参加可

5月
6-8月
第1期トレーニング
米国提携フライトスクール
FAA自家用（単発）取得
飛行訓練※：TOTAL63時間
訓練費：US$ 24,100
FAA自家用（単発）取得後

進捗確認（第1次確認）
FAA自家用（単発）ライセンス取得課程において職業パイロットとしての基本的な適性を確認

不合格者

9-12月（第1期トレーニング帰国後）
訓練継続のための面接試験

合格

不合格者

航空身体検査相当の健康診断の受診

合格

不合格者

12月
英語能力証明提出期限
TOEIC®(L&R)750点以上

取得

未取得者

2-3月
第2期トレーニング
国内提携校
適性確認フライト
慣らし飛行＋適性確認フライト
1回1時間×4回程度実施
(合宿形式で実施)
訓練費：¥1,000,000程度

適性確認（第2次確認）
日本国内における新たな環境での操縦体験を通して、日本航空㈱(JAL)自社養成パイロット候補生に求められる訓練の適性を総合的に判断することが主目的

不合格者

・JCAB海外ライセンサーコースにて訓練を継続し、JCAB事業用資格取得へ
・JCAB国内ライセンサーコースにて訓練を継続し、JCAB事業用資格取得へ
・訓練終了(FAA自家用取得)

合格

8月
12月
2-3月
第3期トレーニング
国内提携校
希望者対象に実施予定
慣熟フライト
1回1時間×4回程度実施
(合宿形式で実施)
・慣熟飛行による目標の達成感とフライトの楽しみを学習することが目的

時期未定（JAL採用選考受験時まで）
日本航空㈱(JAL)
自社養成
パイロット
採用選考

合格者

4月
合格・内定後
日本航空㈱(JAL)自社養成
パイロット訓練生として入社

JAPAN AIRLINES

推薦資格取得
就職試験時に本学推薦により日本航空㈱(JAL)の
自社養成パイロット採用選考 を受験可

※ 飛行訓練には飛行訓練装置による訓練時間を含みます。また、資格取得の課程で学科教育があります。

本コースの特徴
※詳細は「本コース申込および推薦資格取得に際しての重要注意事項(必要条件)」をご確認ください。

POINT 1 日本航空㈱(JAL)とともに設計したコースで高品質な訓練を受けられる！

POINT 2 米国（FAA）の自家用操縦士ライセンスを取得し適性確認フライト（適性確認）に合格すると本学推薦により日本航空㈱(JAL)の自社養成パイロット採用選考に挑戦できる！

POINT 3 圧倒的に低く抑えた訓練費で本コースをチャレンジできる！

TOPIC

卒業生が日本航空株式会社（JAL）に就職

2025年4月、本コースにおける訓練を修了した卒業生が日本航空株式会社（JAL）に入社しました。
中野愛斗さん（2025年3月卒業）は、在学中に米国での操縦訓練（第1期訓練）においてFAA自家用操縦士ライセンスを取得。帰国後は国内での適性確認（第2期訓練）にも合格し、本コースの全カリキュラムを修了しました。
その後、本学推薦によりJAL自社養成パイロット採用選考に挑戦し、見事合格。エアラインパイロットへの道を切り拓きました。
本コースでは、段階的な訓練と継続的なサポートを通じて、学生一人ひとりの進路実現を支援しています。